

### マネジメント

SBSグループでは、「SBSグループ行動憲章」および「SBSグループコンプライアンス規程」を定め、コンプライアンスの体制整備とその推進に取り組んでいます。その役割の中心はグループ各社から選任された議員で構成される「SBSグループコンプライアンス会議」です。コンプライアンス会議は啓発活動推進の中心を担う一方、コンプライアンス違反事案の監視・確認・調査・改善を行っています。また「SBSグループコンプライアンスマニュアル」をはじめとする各種意識啓発ツールをグループ全従業員に配布、徹底することで、公正かつ倫理的な行動および活動の推進に努めています。

- 従業員に必ず配布している意識啓発ツール
- コンプライアンス・カード
  - コンプライアンスマニュアル
  - コンプライアンスルール・ブック

### 意識向上への取り組み

SBSグループでは、従業員に対し、定期的な研修と情報発信を行うことで、コンプライアンス意識向上を図っています。階層研修においては主に広義のコンプライアンスを、専門研修は管理者を対象にハラスメントをテーマにしています。また、実務担当者向け教育素材を定期的に配信し、現場でも教育・啓発ができるようにフォローしています。全従業員向けには「コンプライアンス通信」を発行し、パラダイムやニュースを伝えているほか、オリジナルのコンプライアンス教育ビデオを制作し、研修および事業場での上映を行っています。

### 相談・通報窓口の設置

SBSグループで働くすべての従業員が職場環境や業務上での問題および法令・社内規則または企業倫理に違反する行為を知ったときに相談・通報できる窓口を設置・運用しています。窓口は「職場何でも相談室(コンプライアンス担当職員)」「監査役ホットライン(監査役)」「社外通報窓口(弁護士)」の3種類あり、職場何でも相談室は、相談者の判断により相談員(男性、女性)の連絡先(直通ダイヤル)が選択できるようになっています。

### コンプライアンス意識調査

SBSグループでは、従業員のコンプライアンス意識の浸透度や従業員を取り巻く環境の変化を把握するために、定期的にコンプライアンス意識調査を実施しています。調査結果は新たな施策の展開に活かされるほか、相談・通報窓口の問題点が見出された場合は是正に向けた対策が講じられます。

### コンプライアンス会議開催数

2回

### コンプライアンス関連研修開催数

10回

※階層研修+専門(ハラスメント)

### コンプライアンス相談窓口相談件数

154件



「職場何でも相談室」ポスター

### 通報・相談の流れ

